

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 150-0013
住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目 1 番18号
氏 名 株式会社 アトレ
代表取締役 菊池 眞澄 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社アトレ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎区駅前本町26番地 1		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産賃貸業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		2,468 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総合企画部
		所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目 1 番18号
	電話番号		03-5475-8510
	FAX 番号		03-5475-8517
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	弊社の環境経営の取り組みについてはホームページに公表しています。 http://www.atre.co.jp/company/activity/environment.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,371 t-CO ₂ (調) 7,371	(実) 6,293 t-CO ₂ (調) 6,293	(実) 4,583 t-CO ₂ (調) 4,583	(実) 4,953 t-CO ₂ (調) 4,953	(実) 7,152 t-CO ₂ (調) 7,152
削減率		(実) 14.6 % (調) 14.6	(実) 37.8 % (調) 37.8	(実) 32.8 % (調) 32.8	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積×年間営業時間		単位	t-co2/m2・h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	3.449×10 ⁻⁵	3.003×10 ⁻⁵	2.147×10 ⁻⁵	2.325×10 ⁻⁵	3.346×10 ⁻⁵
削減率		12.9 %	37.8 %	32.8 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	主要熱源設備である冷温水発生機の運用方法見直し、冷温水ポンプインバータ制御実施、外調機のCO2濃度インバータ制御実施、181灯のハロゲン照明のLED化を行い14%削減することができた。
第2年度	第1年度の施策に加えて、地下1階～2階の館内通路照明をLED化するとともに、電力需給逼迫に対応するため、通路照明等の消灯と空調温度の緩和により基準年度比37.8%の大幅な削減を達成した。
第3年度	・第2年度までの施策は継続 ・地下1階～6階の館内通路等の照明をLED化することにより、原単位基準年度比32.8%の削減を達成した。 ・東日本大震災後の省エネ施策とLED照明の導入により、第一計画期間においては目標を大きく上回る削減を達成した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

全社目標として、「2010年度エネルギー使用量原単位比10%以上削減」という目標に対し、18.7%の削減を達成した。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	・ 外部専門家による省エネルギー診断実施 ・ 診断の結果を基に検討を行い、具体的措置を立案する
	第 1 年度	・ 熱源設備の運用管理 ・ 主要熱源設備である冷温水発生機の運用方法を見直した (夏季において外気温に合わせた発停運転) ・ 冷温水ポンプの流量インバータ制御を実施 ・ 外調機のCO2濃度インバータ制御を実施 ・ 181灯のハロゲン照明をLED照明に更新
	第 2 年度	・ 第 1 年度の施策は継続 ・ 地下 1 階～2 階の通路照明のLED化により110kWの電力削減を実施
	第 3 年度	・ 第 2 年度までの施策は継続 ・ 地下 1 階～6 階の館内通路等の照明LED化により、年間447,166kWhの電力削減を実施 ・ 第一計画期間では、地下 1 階～6 階の館内通路等の照明のLED化や東日本大震災後の省エネ施策を削減措置として実施した。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
	なし		

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
	なし		

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・ 屋上緑化 ・ 廃棄物のリサイクル率の向上 ・ グリーン購入の推進
第1年度	・ 屋上緑化 : 屋上に芝生育成 約300㎡程度、H22年度5月末竣工 ・ 廃棄物のリサイクル率の向上 : 80.4%を達成 ・ グリーン購入の推進 : 65.1%を達成
第2年度	・ 廃棄物のリサイクル率の向上 : 79.4%を達成 ・ グリーン購入の推進 : 70.1%を達成
第3年度	・ 廃棄物のリサイクル率の向上 : 77.5%を達成 ・ グリーン購入の推進 : 75.7%を達成 ・ 第一計画期間においては社内会議等による継続的な呼びかけと、段階的な環境目標の計画・遂行を実施し、グリーン購入率の上昇には一定の成果を得た。廃棄物のリサイクル率は汚泥の一部が放射性物質対策として埋立処分された為、若干減少した。

様式第 2 号

(第6面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,716	t-CO ₂
(調)	3,716	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
アトレ川崎	川崎区駅前本町26番地1	6911	不動産賃貸業	3,716 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数